

(別紙様式2)

令和4年度 稲城市学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

102人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

南山小学校学童クラブにおいて、土地区画整理事業による都市基盤整備の進捗による人口流入や、共働き世帯の増加など市民ニーズの多様化により、地域的に児童数の増加が見られ、今後さらに人口流入等により児童数が増えることで待機児の発生が見込まれる。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

稲城市では、小学生の放課後の居場所として、学童クラブと放課後子ども教室と合わせて必要量を確保してきたが、学童クラブへのニーズが高まっていることから、育成室の増設による定員拡大を実施する。

(2) 具体策

稲城市立南山小学校校舎の増築工事に合わせて、小学校内に設置している学童クラブの育成室を2支援単位分 約40人×2クラスで80人分を増築し、受入児童数の拡大を図る。
増築予定部分に既存のコンクリート造の外階段があり、これを一旦取り壊してから既存校舎につなげて増築するため、工期が令和6年6月頃までかかることから、先行して工事が完了する学校教室部分を暫定的利用し、令和6年4月1日から受入定員を80人から160人へ80人増員して育成を開始する。学童クラブ育成室部分が完成する令和6年7月に移転予定。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

土地区画整理事業等により児童数が増加している南山小学校において、育成室の増設による受入定員の拡大を行い、待機児の解消を図ることで市民ニーズに対応できる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	5,436	5,372	5,395	5,303	5,329
増減	—	▲64	23	▲92	26
登録児童数	716	749	766	751	749
増減	—	33	17	▲15	▲2
待機児童数	69	90	84	110	102
増減	—	21	▲6	26	▲8

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	5,370	5,422	5,504	
増減	41	52	82	
登録児童数	929	900	931	
増減	180	▲29	31	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・既存の育成室や小学校の空き教室等を活用し、令和4年4月1日より定員の弾力化を行う。	・市内の小学校すべてで実施している放課後子ども教室の開所時間を午後5時までから午後6時までに変更予定。これにより学童クラブ入所希望の減少を見込んでいる。	・稲城市立南山小学校で、令和6年4月1日に増築する空き教室2部屋に2支援単位80人を新設し、育成室2部屋の増築工事が完了する令和6年7月に移転予定。	
待機児童数	29	6	0	
増減	▲73	▲23	▲6	
	▲73	▲23	▲6	
	▲73	▲23	▲6	